

車椅子用電動段差解消リフト T K L 1300

取扱説明書

もくじ	表紙
安全にお使いいただくために必ずお守りください	P 2
各部の名称	P 5
梱包内容	P 6
組立設置方法	P 7
使用方法	P 9
収納方法	P 10
運搬方法	P 11
停電時降下リングの使い方	P 11
点検	P 1 2
保管とお手入れ	P 12
上限リミットの設定	P 13
故障かなと思ったら	P 13
仕様	P 14
アフターサービスと保証	P 14
図面	P 15

安全にお使いいただくために必ずお守りください

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために安全のメッセージを次のように使い分けてあります。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「負傷を負うか可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。（下記は画表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告	
 強制	介護者が操作を行い、安全を確認の上使用する ご使用にあたっては必ず介護者が安全を確認し、介護者が操作を行ってください。運転・安全確認を介護者が行わないと、故障・事故の恐れがあります。
 禁止	積載人数は一人（150kg）まで 本機は一人乗り用に設計されています。二人以上の人数で載らないでください。故障・事故の恐れがあります。積載最大重量は150kgです。
 強制	アースを必ずとってください。 アースを取り付けないと感電、火災の恐れがあります。取り付けの際は必ずアースをとってください。（アースの取り付けの際は、次のようなところには取り付けしないでください。水道管・ガス管・避雷針・電話線）
 強制	水平な場所に設置する 設置面が水平でない場所、安定しないところへの設置はしないでください。落下・転倒による事故の恐れがあります。周辺の安全も十分に考えて設置場所を決定してください。
 禁止	ぬれた手で電源プラグに触れないでください。 ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります
 禁止	用途について このリフトは、体育館用などで車椅子の昇降を目的に製作されたものです。それ以外の用途ではご使用にならないでください。荷物の運搬や、台としての目的で設置・使用しないでください。故障・事故の恐れがあります。
 注意	組立時ピンの入れ忘れ、アジャスターでの固定を忘れに注意する 組み立てピンの入れ忘れや、アジャスターの締め忘れがありますと運転のとき故障・事故の恐れがあります。組み立ては完全に行い最終的にもう一度チェックしてください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

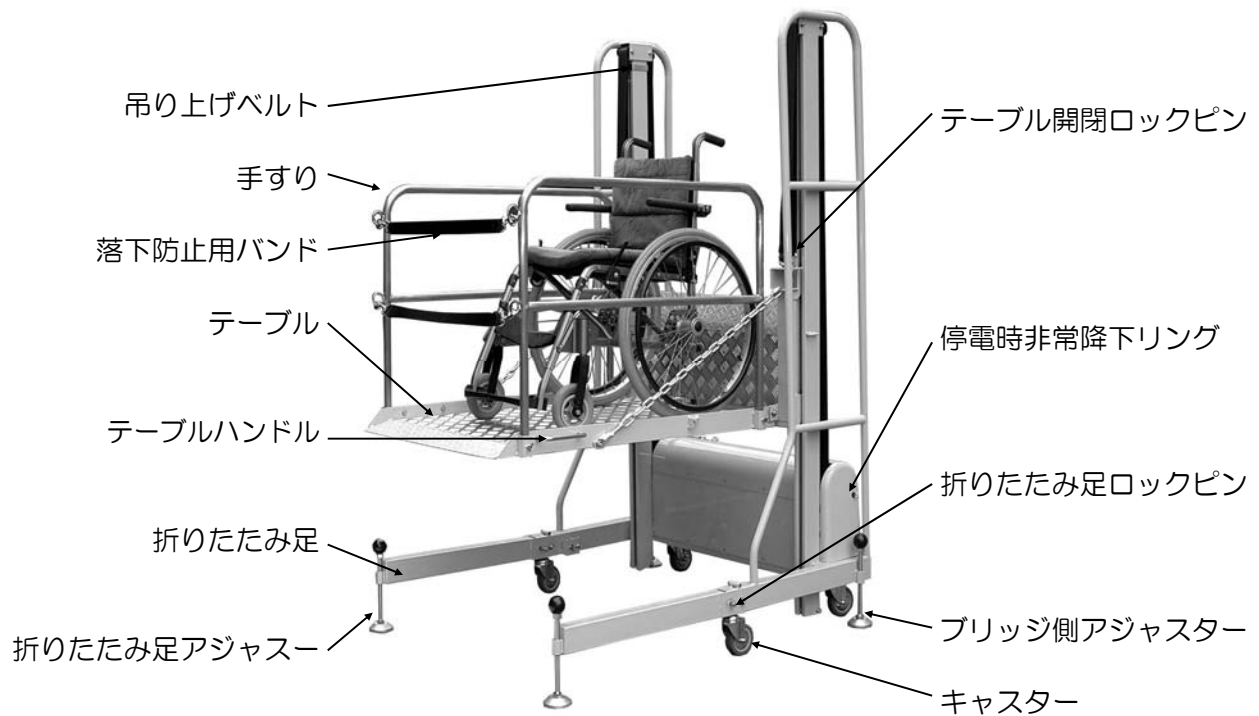
警告

 注意	作業・運転は、油断しないで十分注意する 取り扱い方法、作業方法、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。常識を働かせてください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
 強制	清掃、点検時は必ず電源を切る。 電源を入れたままで清掃を行うと感電や事故の恐れがあります。清掃の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き清掃、点検を行ってください。
 注意	運転時の手・足はさみに注意 運転時、テーブル・壁などに足や手をはさむ恐れがあります。注意して運転を行ってください。
 注意	介護者も十分注意してください。 介護者もリフトへの移動・運転時足元の注意を怠ると事故の恐れがあります。介護者自身のけがにも十分注意してください。
 禁止	修理・改造・分解を行わない 本機の修理・改造は行わないでください。故障による事故の恐れがあります。
 注意	テーブルからの落下に注意。 車いすのテーブルからの落下、介護者の足の踏み外しによる落下の恐れがあります。安全ベルトを確実に取付け、車椅子のブレーキを確実に行って、十分注意してリフトへの昇降、運転を行ってください。
 強制	周辺環境を整える。 車椅子の進入に障害物があったり、車椅子の通路が狭かったりすると事故の恐れがあります。車椅子の通路を確保し、安全に使用できる周辺環境作りを行ってください。
 強制	メンテナンス・点検をする。 メンテナンス・点検を行わないと故障・事故の恐れがあります。メンテナンス・点検は、この説明書をお読みいただき必ず行って下さい。メンテナンス時には必ず電源を抜いてください。
 強制	運転の前は必ず点検を行う。 点検を行わないで運転を行うと故障・事故の原因になります。運転の前は必ず点検を行ってください。
 強制	容量以上のコンセントに確実に接続する 電源コード・コンセントの容量が不足や、コンセントが確実に差し込み不良は、ショートや火災の恐れがあります。電源コード・コンセントの容量は余裕を見てください。
 注意	子供を近づけない 作業中、取扱者以外近づかないでください。けがの恐れがあります。子供のいたずら防止のため、子供が近寄らないような対策を行ってください。また機械から離れるときは必ず電源キーを抜いてください。
 注意	屋外での使用・保管はおやめください。 リフトは屋内専用機です。雨のかかる場所や屋外ではご使用にならないでください。故障・事故の恐れがあります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

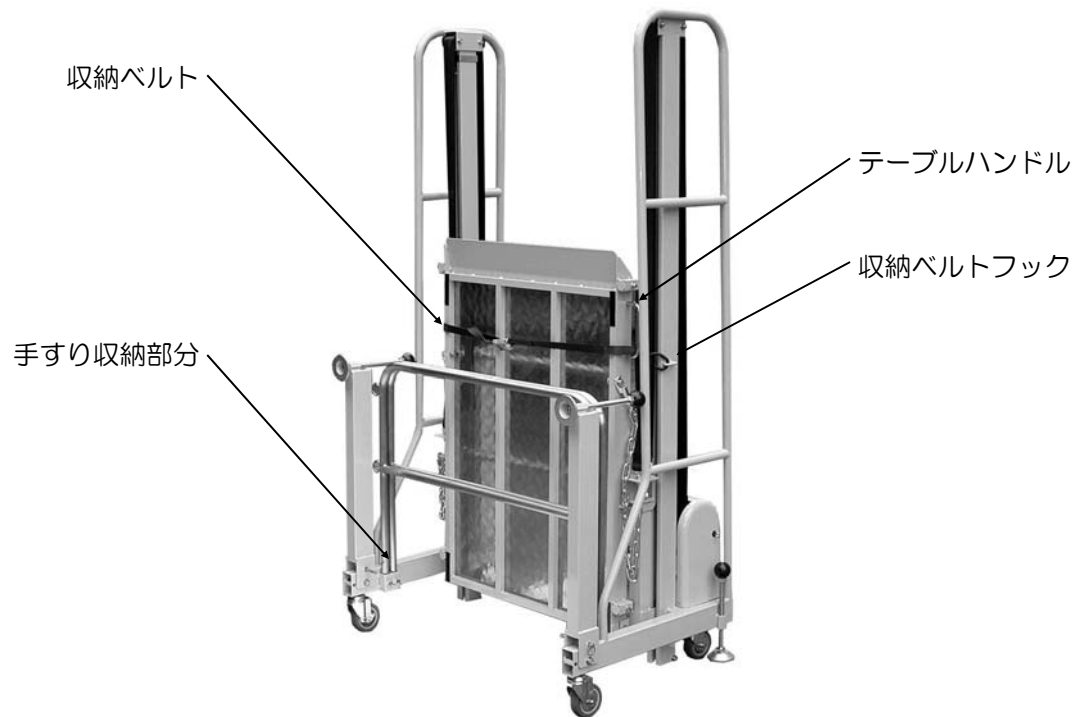
注意	
 注意	リフトに乗り降りの際のけがに注意する。 テーブルへの乗り降りの際、足や手を手すりなどにぶつけてけがの恐れがあります。手や足をぶつけないよう十分注意してテーブルへの乗り降りを行ってください。
 注意	車椅子の大きさをあらかじめ確認する。 お使いになる方の症状により車椅子の大きさは大きく変わります。確認をしないで使用すると、故障・事故の恐れがあります。リフトに安全に載れるか大きさ形状を確認の上ご使用ください。
 強制	保管はたたんだ状態でカバーをつけて たたんだ状態でカバーをつけて保管しないとごみの浸入など故障の原因となります。保管は、リフトをたたんだ状態でカバーをしてください。
 強制	保管は電源キーを抜いた状態で 保管時に電源が入っているといたずら等、事故の恐れがあります。使用にならない時は、キースイッチを抜き電源が入っていないことを確認し、カバーをして保管ください。
 注意	コードの干渉に注意する 運転時電源コード、操作スイッチコードが引っかかったり干渉したりしていないか注意してください。注意を怠ると事故・故障の恐れがあります。

各部の名称 1



各部の名称2

■折りたたみ状態



梱包内容

■梱包内容

- ①機械本体
- ②ビニールカバー
- ③取扱説明書（本書）
- ④保証書
- ⑤操作スイッチ
- ⑥操作キー
- ⑦予備ヒューズ

組立設置方法

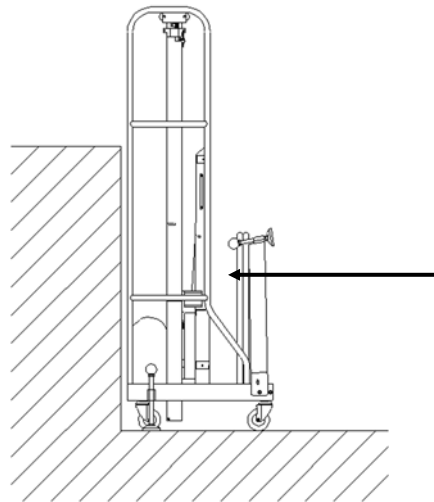
■運搬

- ①設置場所まで運搬を行います。
モーター側部分のアジャスターを5cm以上上げて
ください。上げるにはボール部分を左に廻してく
ださい

⚠ 注意

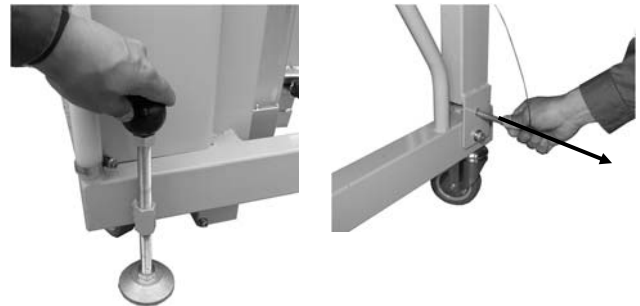
アジャスターは高く上げないと運搬時に床面等に傷
をつける可能性があります。

- ②2人以上の人数でゆっくりと押して運搬してくだ
さい。



■設置位置

- ①設置位置は基本的にはステージの壁に機械の背中
部分が当たるぐらい寄せます。
- ②機械後部よりブリッジは140mmほど出ます。安
全のためにも100mmほどステージに架かるよう
な位置としてください。
- ③場合により床面にベニヤ板などを敷くと床面が傷
つく心配がありません。



■組み立て

- ①ブリッジ側アジャスターの固定
設置場所まで運搬したら、ブリッジ側部分のア
ジャスターを床に当たるまでおろします。（丸い
ノブを右に廻す。キャスターが上がるか上がら
ない程度で十分です。）
- ②折りたたみ足を開く。 折りたたみ足の側面のピ
ンを抜き下ろしてからピンを刺し直して固定しま
す。
- ③折りたたみ足のアジャスターの固定。（丸いノブ
を右に廻す。キャスターが数ミリ上がる程度）
- ④手すりを外します。
- ⑤根元のねじをゆるめて手すりを取り外します。
（真上に引っ張ってください。）



設置方法

- ⑤ テーブルを固定しているフックを外します。
（バンド金具内部のレバーを押しバンドを緩めてフックをはずします。）



- ⑥ テーブルを開く。テーブル固定ピンを引き上げ
テーブルを倒します。



⚠ 注意

テーブルを倒す際支えておかないと急に倒れます。
十分注意して倒してください。

- ⑦ 手すりを取り付けます。手すりをテーブル4箇所
の穴に差込、ねじを締めて固定します。（安全
バンド取り付けのリングが有る方がテーブル
端に取り付けます。）

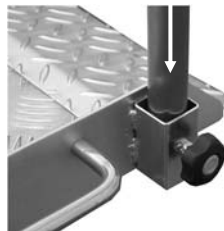


- ⑧ 手すりの安全バンドを取り付けます。



- ⑨ スイッチの取り付け。スイッチを取り付けま
す。スイッチ根元プラグをコネクタに差込みリ
ングねじを締めます。

- ⑩ 電源コンセントにプラグを差し込みます。コー
ドは2mほどしかありませんので必要に応じて
延長コードをご用意ください。



- ⑪ キースwitchを差込みひねって電源ランプが点灯
することを確認する。

■運転前の確認とテスト運転

- ① 折りたたみ足が伸びていて、固定ピンが適切に
挿入されていること。



- ② 機械の4本のアジャスターで固定され、機械全
体を揺すっても機械が動かないこと。



- ③ 手すりが適正に取り付けられており固定ねじが
締まっていること。

- ④ 手すりの安全バンドが確実にフックに固定でき
ていること。

- ⑤ 操作スイッチ上下を押し必要高さまで上がり、
床面まで降りること。この際壁に接触したりし
ないこと。

- ⑥ 必要高さまで（段差に対して数センチ高い位
置）に止めてブリッジを開閉してリフトからス
テージへの乗り移りに支障がないこと。

使用方法

■運転の前に

- ①設置が確実に行われているか確認する。（P8の運転前の確認を行う。）
- ②周囲の環境を整え周辺、利用方法に問題がないか確認する。

■使用方法

- ①車椅子をテーブルに載せ、車椅子のブレーキをかける。
- ②安全バンドをかける（より安全を高めるため手すり中央のフックにベルトをかける時はバックで侵入してください）。

⚠ 注意

安全ベルトは2本以上を完全に取り付けてください。安全に行わないと落下事故の危険性があります。

- ③操作スイッチの上スイッチを押し必要な高さまで上昇させます。テーブルがステージより2～3cm上にくるようにします。（スイッチを押しているときだけ動きます。場合により上昇位置を設定することもできます。リミットスイッチの設定P12を参照。）

- ④ブリッジ開閉バーをステージ上から操作しブリッジをゆっくりと開けます。開閉バーを開く時は一度前に押して右にずらして開けてください。

- ⑤ブリッジがステージ端に10cm以上かかり、

⚠ 注意

ブリッジ操作の時、手や足はさみなどのケガに注意してください。

乗り移りに問題がないか確認してください。

- ⑥車椅子のブレーキを解除しステージに乗り移ります。

■ステージからの降り方

- ①基本的には上昇と逆の手順を行います。



収納方法

■ 収納方法

基本的には組み立てと逆の事をおこないます。

① テーブルを収納合わせマークまで上げます。

② 安全バンドをはずします。

③ 手すりをはずします。

④ テーブルおたたみます。

⑤ テーブル開閉ロックをかけます。

⑥ 収納バンドをテーブルハンドルに通しフックにかけバンドを引っ張って固定します。

⚠ 注意

収納バンドの固定が不十分ですと横にして運搬する時テーブルが動き大変危険です。必ずテーブルハンドルに通し確実に固定してください。

⑦ 手すりを手すり収納部分に差込みねじを締めて固定します。

⑧ 折りたたみ足アジャスターを左に廻し、ねじを緩めます。このときアジャスターを十分に廻し折りたたみ時に出っ張らないようにします。

⑨ 折りたたみ足固定ピンを抜き足を立て固定穴にピンを刺して足を収納します。

⑩ ブリッジ側アジャスターを左に廻し5cmほど上がるようにします。（大きく上げないと運搬中段差にぶつかったり、運搬で横に倒すとき床をキズつけたりしますので注意してください。）

⚠ 注意

運搬の場合は、2人以上でおこなってください。けがの危険があります。

⑪ 2人で運搬します。

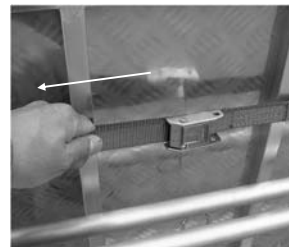
⑫ 収納場所に着いたらブリッジ側のアジャスターを廻し、動かないよう固定しカバーをかけて固定してください。



マーク



テーブルハンドルに通す



運搬方法

■運搬方法

①横に倒して収納・運搬する場合は、ビニールカバーをはずし、丸パイプ部分を持ち行ってください。特に操作スイッチのプラスチックカバー部分はモーター、ギヤ等が収納されていますので重量が集中していますのでご注意ください。

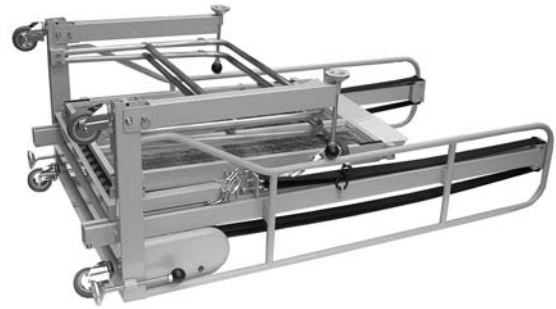
②横にする場合はブリッジ側を下にして倒してください。その際キャスターがすべりやすく危険ですので注意が必要です。倒す下面にはプラスチック製のプロテクターがついていますので、塗装面に傷がつきにくくなっています。

⚠ 注意

横に倒しての運搬は4人以上で行ってください。全体としては100kg以上ありますので十分注意しておこなってください。

⚠ 注意

機械は重いので大きな段差を移動する場合は運搬に十分に注意してください。必要に応じて業者にご依頼ください。



停電時降下リングの使い方

■停電降下装置

運転中に停電になった場合、テーブルを手動で降下させることができます。（上昇させることは出来ません）またテーブルに荷重がかかっていないと降下しません。

使い方

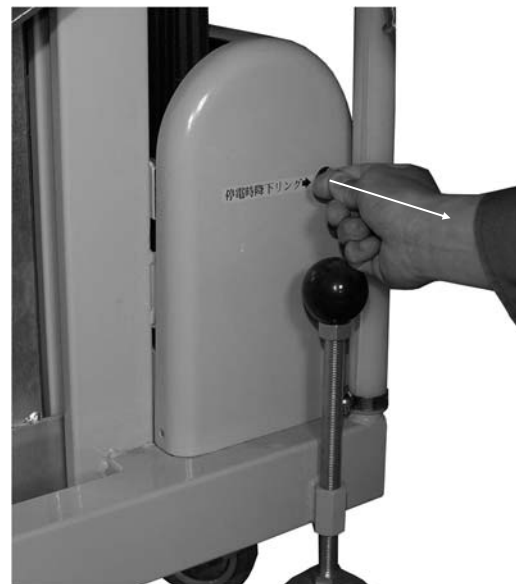
- ①コンセントから電源プラグをはずします。
- ②テーブルの下に物がないことを確認します。
- ③停電時手動降下リングをゆっくりと引きま
す。少しずつゆっくりと降りますが加速が大
きくなり過ぎたらリングを離します。これを
繰り返し降下させます。

⚠ 警告

電源コードが確実にコンセントから抜いてあることを確認してご使用ください。

⚠ 警告

停電手動降下装置は、停電時のみ使用するものでその他のときには使用しないでください。停電時以外でのご使用は、故障事故の原因になります。



⚠ 警告

停電手動降下装置操作中は、事故の可能性がありますので、テーブル下やテーブル付近に人や物がないことを確認の上ご使用ください。

点検

■ご使用の前には、必ず次の点検を行ってください。

- ①テーブル下にゴミや物などが入り込んでいないか確認する。
- ②組み立てボルト、ピンに異常がなく正常に組み立てできるか確認する。
- ③リフトを上下させスムーズに動くか確認する。
- ④フレームにさびや劣化が起きていないか確認する。
- ⑤吊り下げバンドが傷ついたり痛んでいないか確認する。
- ⑥アースが確実に接地されているか確認する。
- ⑦テーブル、ブリッジの取り付けボルト、テーブルつり金具、取り付けボルトが痛んでいないか緩んでいないか確認する。
- ⑦P8の「運転前の確認とテスト運転」を確認する。

⚠ 警告

上記の点検を行い問題があるようでしたら、ご使用を中止して下さい。そのまま使用すると事故故障の恐れがあります。よくわからない場合は、販売店にお問い合わせ下さい。

保管とお手入れ

- ①専用シートで覆って、ほこり・湿気の少ない屋内に保管します。
- ②キャスター付きで動いてしまう可能性があるためブリッジ側アジャスターを効かせて保管します。
- ③鍵やその他部品については紛失しないよう保管してください。
- ④転倒による危険がある場合などでは、壁に固定するなどの対策を行ってください。
- ⑤清掃時はシンナーなどは使わず、よく絞った雑巾か乾いたウエスで拭いて下さい。
- ⑥直射日光の当たるところで保管しないでください。

⚠ 警告

保管状況がよくなないと転倒や子供のいたずらによる事故の可能性あります。保管場所を確保し場合により転倒防止策を講じて保管してください。

上限リミットの設定

いつも同じ場所、同じ高さでご使用になる場合、上昇を一定の高さでとまるように設定できます。設定を必要に応じて行ってください。メーカー出荷時は最大ストローク（床面より1300ミリ）で設定されています。（設定は販売店またはメーカーにお任せください。場合により以下の要領で調整等を行ってください。）

■設定方法

- ①上部リミットスイッチの取り付けねじを緩めます。
- ②レール裏側の配線固定ねじをはずコードを自由にします。
- ③リミットのバーが必要高さのおおむね3センチ上で仮固定します。
- ④実際に上昇させ確認を行います。この際テーブルはステージより2～3センチ上でとまるようにします。微調整が必要であれば微調整を行います。
- ⑤コードがあまりますのでつりバンドに干渉しない様にバンド等で固定します。



故障かなと思ったら

機械が動かなかったり、異常がある場合は、下記の内容をもう一度ご確認ください。

動かない

症状 電源ランプが点灯しない

確認事項

- 確認 ①キースイッチは差し込まれオンになっていますか？
- 確認 ③電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
- 確認 ②電源コンセントに電気はきていますか？
- 確認 ④各配線が切れたり痛んではいませんか？

上記の確認でも動かなかったり症状が改善されない場合は、機械の電源を抜き、販売店又はメーカーへお問い合わせください。

仕様

型式	TKL1300
設置時の大きさ	1450mm×1170mm×高さ1950mm
運搬時の大きさ	700mm×1170mm×高さ1950mm
テーブル寸法	700mm×1100mm
テーブル最低高さ	30mm
テーブル最上高さ	600mm-1300mm（0-600mmは使用できません）
昇降ストローク	1270mm
最大持ち上げ重量	150kg
総重量	105 kg
主な材質	スチール（塗装仕上）、アルミ（テーブル部分）、FRP
昇降スピード	1200-2400mm・1400-2800mm/分 50・60HZ
電源	100V/50・60HZ 420w
安全装置	操作電圧24V キースイッチ 手動降下装置 急降下防止装置
付属品	収納時ビニールカバー φ100キャスター 電源コード1m

アフターサービス・保証

保証期間

お買上日から1年間

保証期間中は、保証書の記載内容により修理致します。

保証期間がすぎている場合は、ご希望により有償で修理を行います。

詳しくは、販売店またメーカーにお問い合わせください。

なお、ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。

株式会社コイケ

〒254神奈川県平塚市四之宮2-21-77

電話 0463-22-1217

ファクス 0463-21-5883

Http://www.kow.co.jp/